

科名: 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	積算実習	選択	V, VI期	2	2
教科の区分	専攻実技					
教科の科目	積算実習					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における施工管理業務の中の特に積算見積り業務 同様に、工務店(住宅)における施工管理業務の中の積算見積り業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
建設業界における建築物の積算業務について学び、建築物から各部位から積算を行い数量見積書作成までについて学びます。	①	積算業務について理解でき、生産プロセスとのかかわりについて理解できること。				
	②	入札に関すること工事費に関することを理解できること。				
	③	建物の構造に関する仕様が理解でき、設計図書の躯体項目を学ぶこと。				
	④	建物の仕上げに関する仕様が理解でき、設計図書の仕上げ項目を学ぶこと。				
	⑤	建物の躯体部位の形状を理解でき、各部位のコンクリート、型枠、鉄筋の拾いができること。				
	⑥	建物の仕上げ表を理解でき、各部位の仕上げ形状を読み取りながら、拾いができること。				
	⑦	建物の木に関する仕様が理解でき、拾いができること。				
	⑧	建物の土工事、躯体工事、仕上げ工事のまとめ及び集計ができること。				
	⑨	建物の各工事ごとの数量見積書が作成できること。				
	⑩	建物の数量見積書に値入れができ、積算価格が作成できること。				

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	仕様・積算で学んだ積算方法を復習し、施工について基本的な事項を整理しておくこと。
授業科目についての助言	この授業では積算業務の重要性を念頭に置いた基本に基づいた内容となっています。仕様及び積算では特に建築物を生産するために基礎工事及び躯体工事に必要な例えばコンクリートの量、鉄筋の量、型枠の量などなど生産に必要な材料を見積もる必要があります。このような数量の拾い出しを建築数量積算基準というルールに則った方法で行います。この拾い出しのルールを身につけさせましょう。
教科書および参考書(例)	教科書: 建築積算(社団法人 日本建築積算協会) 参考書: 建築数量積算基準・同解説(大成出版)
授業科目の発展性	

評価の割合								
指標・評価割合	評価方法	試験	演習	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合		60			30		10	100
	授業内容の理解度	60			15			
	技能・技術の習得度				15			
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力、推論能力							
	取り組む姿勢・意欲・態度						10	
主体性・積極性								

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1, 2週	「仕様と積算」に関する概要説明及び木拾いについて説明	講義・実習	仕様及び積算について理解ができ、設計図書における各図面と記載事項を復習してください。
3, 4週	事例に基づいて 躯体拾い演習(主に基礎、基礎梁、仮設)	講義、実習	躯体について復習してください。
5, 6週	事例に基づいて 躯体拾い演習(主に柱、梁)	講義、実習	躯体について復習してください。
7, 8週	事例に基づいて 躯体拾い演習(主に床、壁)	講義、実習	躯体について復習してください。
9, 10週	事例に基づいて 仕上げ拾い演習(主に外部仕上げ)	講義、実習	仕上げについて復習してください。
11, 12週	事例に基づいて 仕上げ拾い演習(主に内部仕上げ)	講義、実習	仕上げについて復習してください。
13, 14週	事例に基づいた拾いについて集計・内訳書作成演習	講義、実習	躯体・仕上げについて復習してください。
15, 16週	事例に基づいた演習で取り残し拾い(主に躯体・仕上げの雑、その他)	講義、実習	積算について総復習をしてください。
17, 18週	テスト	試験	積算について総復習をしておいてください。